

# 令和5年度の教育データ利活用に関する取組について

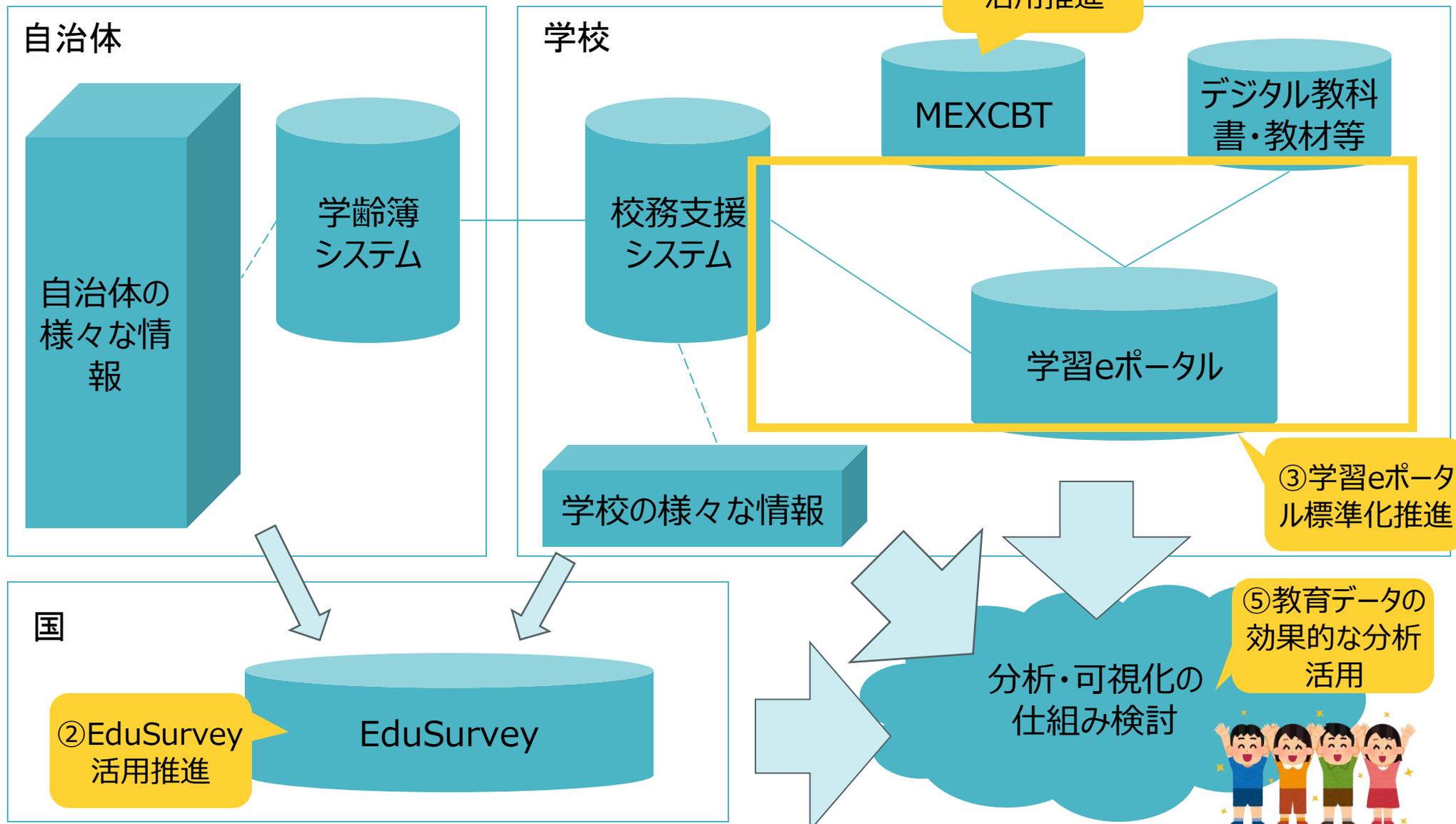
資料1-4

データ連携  
データ入力等

④教育データの  
標準化推進

⑦データの利活用  
に係る留意事項

⑥教育情報システムの在り方



# 令和5年度の教育データ利活用に関する取組について

① MEXCBTの拡充・活用推進	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）の開発・運用</b><ul style="list-style-type: none"><li>➢ 全国学力・学習状況調査での活用や今後の更なる活用を見据えた機能等の検討・開発を行う。</li><li>➢ 地方自治体が実施する学力調査におけるMEXCBTの活用を進める。</li><li>➢ 国の調査におけるMEXCBTの活用の検討・実施する。</li></ul></li></ul>
② EduSurveyの改善・活用促進	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>文部科学省WEB調査システム（EduSurvey：エデュサーベイ）の開発・運用</b><ul style="list-style-type: none"><li>➢ EduSurveyを使って行う調査の利便性向上のため、機能拡充を実施する。</li><li>➢ EduSurveyの保守・運用を行い、調査を着実に実施する。（令和5年度は80調査を目標に実施）</li></ul></li></ul>
③ 学習eポータル標準化推進	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>「学習eポータル標準モデル Ver.4.00」の策定</b><ul style="list-style-type: none"><li>➢ 製品の規格・要件や運用の指針・要件等を検討し、Ver.4.00を作成する。</li></ul></li><li>● <b>「学習eポータル標準モデル」の適合性評価の検討と準備</b><ul style="list-style-type: none"><li>➢ モデルに適合していることの確認・明示について、枠組みを提示し、必要な準備を行う。</li></ul></li></ul>
④ 教育データの標準化推進	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>教育データの標準化の推進</b><ul style="list-style-type: none"><li>➢ 主体情報・内容情報・活動情報からなる教育データ標準について、内容情報・活動情報を中心に内容の充実を行う。</li><li>➢ 学習行動記録に関して、xAPI（Experience API）を用いて標準化を実施する。</li></ul></li></ul>
⑤ 教育データの効果的な分析活用	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>教育データの分析フォーマットの作成と複数自治体への展開</b><ul style="list-style-type: none"><li>➢ 地方自治体のニーズに基づき、教育データの分析を実施し、フォーマットを作成する。</li><li>➢ フォーマットを他の複数自治体に展開し、自治体が自ら分析を実施できる環境を構築し試行する。</li></ul></li></ul>
⑥ 教育情報システムの在り方	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>教育情報システムの連携の在り方についての調査研究</b><ul style="list-style-type: none"><li>➢ 教育情報システムについて、理想の在り方や現存するシステムを踏まえた現実的な在り方等について検討する。</li><li>➢ 特に、IDの在り方やLRS（Learning Record Store）の在り方については、詳細に検討を行う。</li></ul></li></ul>
⑦ 教育データの利活用に係る留意事項	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>教育データの利活用に係る留意事項（第2版）の策定</b><ul style="list-style-type: none"><li>➢ 実際の教育データ利活用のユースケースを元に、具体的に行うべき対応等を検討し、第2版を作成する。</li></ul></li><li>● <b>教育データの利活用に係る留意事項等に関する論点の整理、検討</b><ul style="list-style-type: none"><li>➢ 教育データを利活用するにあたり、長期的に検討が必要となる事項について、整理し検討を行う。</li></ul></li></ul>